

令和 6 年度「学術交流協定校との国際シンポジウム開催支援事業」報告書  
 “Grant for International Symposium with Academic Partner University in FY 2024” Report Form

6 年 12 月 9 日

実施責任者 職・氏名 Responsible faculty member(Title, Name)	教授 佐藤 敏文			
シンポジウム名 Symposium title	Hokkaido University – National Central University Joint Symposium on Materials Chemistry and Physics 2024			
実施期間 Date, Time	2024 年 8 月 22 日 ~ 24 日			
シンポジウムの具体的な開催内容 Describe the contents of the symposium	<p>部局間交流協定を結んでいる国立中央大学（台湾）との材料化学・材料物理分野のジョイントシンポジウムを工学研究院、総合化学院、フロンティア化学教育研究センター（FCC）の協力のもと、フロンティア応用科学研究棟で開催した。先方からは工学院院长と学科長を含む 4 名の教員と 9 名の学部生・大学院生が参加した。北大側は教員・学部生・大学院生合わせて 44 名が参加し、合計参加者は 57 名であった。</p> <p>8 月 22 日夕刻にウェルカムレセプションを行うことで交流を深め、23 日は教員による口頭発表（国立中央大学 4 名、北大 4 名）と学生によるポスター発表（国立中央大学 9 名、北海道大学 15 名）を行った。また、23 日昼には国立中央大学の Hsiau 工学院院长ら 4 教員と北大の幅崎工学研究院長、忠永総合化学院長ら 5 教員で今後の交流のさらなる推進について話し合った。8 月 24 日はキャンパスツアーと研究室見学を開催した。</p>			
出席者数 Number of Participants	合計/Total 57 人/Participants			
	内訳/Details			
	人数/ Number of Participants	身分/Status	国/Country	所属機関名/University Name
	4	教員	台湾	National Central University
	9	学生	台湾	National Central University
	10	教員	日本	北海道大学
34	学生	日本	北海道大学	
シンポジウム開催による成果 Outcome	<p>本シンポジウムの開催により、Covid-19 で中断していた両校の学術交流・学生交流が再開された。また、本学学部生および大学院生の国際化意識の向上に繋がった。さらに今後も同様なシンポジウムを 2025 年 3 月に台湾で（LS 経費使用）、8 月に北大で開催すること決め、さらなる交流が期待できる。</p> <p>今回参加した国立中央大学の複数学部生が、北大の大学院に進学したいとの相談も受けており、北大の国際的地位の向上にも貢献している。</p>			
今後の展望と課題 Future prospects and issues	<p>今後も交流を続け、国際共同研究の推進とインターンシップなどによる学生の交流・国際化が期待できる。また、Hsiau 工学院院长が 2025 年 2 月より国立中央大学の校長になることから、近未来的に「大学間交流協定」に繋げていけるようにしたい。</p> <p>課題としては、交流のための資金の確保（特に学生分）が常に問題となる。</p>			
その他 （本事業の要望等） Comment for the grant	<p>国際交流を促進するための非常に良い事業であるので、今後も継続して頂きたい。もし可能であれば、先方学生の滞在費の一部補助等にも利用できるようなして頂けると、先方学生の参加人数が増加すると思われる。</p>			



ジョイントシンポジウムの集合写真



国立中央大学教員による表敬訪問の集合写真